

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

# 弾劾! 動く策除千葉 エスカレートする 102回 定例

第一〇二定期中央委員会は三月一日・二日伊東市・水明荘で開催される。この間、全国組織部長会議、ブロック別支部長会議等での発言内容等々から一二月以降の千葉地本排除破壊策動がわれわれの先制的対応によつ

電話連絡停止

## 組織分断を上から押しつける中央本部

デマ号外送付

いかなる権限で「電話連絡」を停止させたのか

二月一九日以降今日まで、すでに十日間にわたり千葉地本への一切の電話連絡、指示は何らの予告もなく一方的にストップされている。

同時に、本部は地本傘下の各支部と組合員の個人宅に、千葉地本を誹謗・中傷する情報・電話連絡・指示等を直送している。

一体これは何か! 現に存在し機能している一地方本部を完全にまっ殺し、千葉地本の執行権を事実上停止している。第三七一号(二月一九日付)をもつてする「電話連絡」以降、本部からの電話連絡のコードは一方的に切断されたままである。

われわれは、この重大なファシヨ的組織分断破壊行為に対し、満腔の怒りをこめて弾劾する。

「五項目解明要求」に全く答えがないどころかさらに反動的に居直つて発出されてきた二月四日付「電話連絡」は、指令・情報等の支部・家庭送付という前代未聞のファシヨ的やり方を押しつけてきている。われわれは怒りをもつてこの蛮行を弾劾するものであるが、しかし、それさえ、「指示・連絡は、地本のみならず各支部直送ないし家庭郵送とする。」とされているのだ。機関の確認をはるかに逸脱して「千葉地本への電話連絡を完全ストップ」しているのは誰か。いかなる権限・決定でやっているのか。本部は責任を明確にせよ!

「デマ」と「居直り」と「官僚的どう

喝」なぜ本部は「内容」「路線」に

触れないのか

動力車新聞号外

このような勝手気ままな逸脱行為をやる一方で各支部に送付されてきた「動力車新聞」(号外)の中味たるや全く不誠実でおそまつなものである。長々と文字ばかり書きつらねてはいてもまさに肝じんかなめの二つのポイントについて「完全に」はぐらかしてしまっている。

即ち**第一**にわれわれは動労の戦闘的再生の為に「四つの基軸」(「三里塚」「水本」「貨物安定

てことごとく粉碎された一部反動分子によつて、千葉地本の執行委員会全体の執行権停止を含む、より一層の破壊策動がしかけられてくること必至の情勢である。

宣言「暴力的機関運営」にわたる基本路線上の問題を提起したのであり、

**第二に**、とりわけ「査問委設置」強行後の数限りない規約規則無視―機関運営ルール逸脱の具体的事例をあげて、「五項目の解明要求」を提出しているのである。中央本部はこのことに全く答えていない。

**第一に**、都合の悪い部分は、いんべいしごまかしている。Y例えば、水上の「指令なき集団」「自主参加学習会」とか。「関東青年部発一〇号」「留保を指導している」とか。

**第二に**、説明し切れない問題では完全に居直る。Y例えば「敵対矛盾」発言、「再建ガンパロー」発言「一〇一定中の決定方針だから当然」など。

**第三に**、最初から事実問題そのものでデマを書く。Y例えば「綾部君問題」2・10臨時大会を千葉地本が労働省記者クラブまで連絡をとり出席要請した。12・10日比谷公会堂集會に千葉地本が組合旗・ヘル着用で組織参加しテレビにも映った等々。

**第四に**、さすがに2・10千葉地本臨時大会の圧倒的な正しさと迫力の前には、完全に路線論争をあきらめてしまっている。V(津山大会がごときテロ・リンチ・脅迫、なんであれともかく)「決めた」のだから「守れ」の内容ゆきの形式論でしかない。

いかなる組織破壊も断じて許さず、40は正義をつらぬく

一方で「電話連絡」停止は事実上の執行権停止を断行し、他方で「号外」直送等で中傷・デマ宣伝を行なうという、ついに開始した本部のやり方は、重大なエスカレートであり断じて認めることはできない。

われわれは第三二回地本臨時大会方針に踏まえ、断固この攻撃をはねかえしてゆかねばならない。